

移転に寄せて

秦 俊一郎(名古屋情報メディアセンター事務室)

私が名古屋情報メディアセンター事務室に着任したのは、2006年4月でした。それからあつという間に5年が経ちました。着任当初は何も決まっていなかった新校舎の建設計画が、この5年の間に決定し、今実際にその作業を行っているという状況に、時の移り変わりというものを思い知らされます。一方、名古屋校舎で愛知大学の職員としてのキャリアをスタートさせた私が、その最後に立ち会うことができるということは、感慨深いものがあります。

この5年を振り返ってみれば、秘話としてご披露できる話などいくつかあるのではないかと高を括っていましたが、実際に原稿を書くとなると手が動かず、自分がやってきたことの浅さを痛感させられます。同時に、情報メディアセンターについて何もわからない私を助けてくださった教職員・派遣職員・業務委託・学生アルバイトの皆さんに対する感謝の思いが尽きません。改めて5年間で一緒に働いた皆さんの顔を一人ひとり思い浮かべながら数を数えたところ、その数は100名近くにのぼりました。これだけの皆さんと何かの縁で一緒に働かせていただき、ある時は笑いながら、ある時は悩みながら、たくさんの出来事や思いを共有しながら過ごすことができたのは、私にとって大きな財産となっています。

情報メディアセンターは教職員(雇用形態は様々ですが)と学生(学生アルバイト)が協働して運用してきましたが、校舎が移転してもそれに変わりはありません。名古屋校舎での多くの皆さんのご協力に心から感謝申し上げるとともに、新校舎において皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。